

以上の反省点を踏まえ令和2年・3年と2年連続で、各町会の被災状況を災害対策本部に報告をする訓練が実施されました。



そして、災害対策本部では、各町会から届く被災情報を元に、拡大した住宅地図に、家屋の倒壊・火災や道路の状況を記入する災害図上訓練（DIG）が実施されています。

被災情報は、この住宅地図に直接記入するのではなく、地図の上に重ねた透明のビニールシート（オーバーレイ）に記入し、

このオーバーレイを適宜張り替えることにより、前の情報を残して、新しい情報を追加していきます。

また、各町会から届いた被災情報や支援依頼は、ラミネートされた「情報処理一覧表」を壁に貼り、そこに順次記入され処理状況が一目瞭然でわかるようにされています。



私たち、民生委員・児童委員の出番は、この後の避難所開設時から、高齢者や障がい者のお世話という形で参加していくことになります。

